



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No.3

2026.7.15(No.3291)

ロータリーで人生をより充実させよう

第2560地区ガバナー／富山 洋
会 長／小 林 吾 郎
会長エレクト／明田川賢一(クラブ奉仕A)
副 会 長／渡 辺 良 一
幹 事／野 水 靖 之
S A A／渋谷 政道
会 計／早 川 滝 徳
直 前 会 長／柳 取 崇 之
会長ノミニ／成 田 秀 雄(クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
https://www.sanjorotary.site

■本日の出席会員数:56名中44名
■先々週出席率:90.91%

【ゲスト】

・(株)玉川堂
代表取締役 七代目 玉川基行 様

【ビジター】

・加茂RC会長 森山一理 様、
・第4分區IM副実行委員長 石附孝子 様

【先週のメイクアップ】

[7.11] 米山記念奨学委員長セミナー(新潟)へ
・白鳥 賢さん



「白馬岳山頂より、白馬山荘と剱岳を望む」

会 長 挨拶

小林吾郎 会長



皆さん、こんにちは。

玉川さん、本日は卓話よろしく願いいたします。奥様もようこそお越しくございました。

また、加茂RCより森山会長、石附IM副実行委員長、後ほどご挨拶をお願いします。

本日は今シーズン初の36度という予報が出ています。梅雨明けを待たずして、もう真夏です。40度を超えるスペインやフランスよりはマシですが、外を歩いているだけで体力が奪われるような暑さです。熱中症には十分お気をつけください。

さて、前回の例会で「私の履歴書」のような話をしたところ、いくつか嬉しいお声をいただきました。ありがとうございます。調子に乗って今日も少しお話しさせていただきます。

実は私とロータリークラブとの関わりは、39年前、18歳の時が最初でした。

高校を卒業したばかりの、大学浪人中のことです。7月中旬のある日、突然、父が私の部屋にやってきて、いきなりこう言うんです。

「ゴロー、おまえ1か月アメリカに行ってこい」

「え？ オレ、浪人中だよ?」と反論しましたが、もちろん聞き入れてもらえるはずもなく、強制的にアメリカへ行かされることになっていました。

どうもその年のロータリークラブの国際交流事業、短期交換留学だということです。アメリカから10数人の高校生が1か月、第256

持続可能な
インパクトを
生み出そう

2026～2027年度 国際ロータリー会長メッセージ

地区(新潟・群馬)に来ていて、その後、訪問先の学生がアメリカへ交換留学する予定だったところ、一人都合がつかなくなった。その代わりとして、自由に時間のある浪人中の私に行ってこい、というわけです。当時の私が、オヤジに逆らえるはずありません。

行き先はカリフォルニア州のFullertonという街。ロータリークラブの例会にも参加させていただきました。結果として、その1か月は非常に良い経験になりました。後に大学を卒業してから1年間アメリカに留学することになるのですが、そのきっかけになったのも、間違いなくあの強制連行だったと思っています。

ひとつ印象に残っているのが、向こうの例会の雰囲気です。チノパンやジーンズにシャツ、ポロシャツの方も多く、真夏でしたのでジャケットを着ている方はほとんどいなかった記憶があります。非常にラフでカジュアルな雰囲気、それでいてロータリーとしての温かさはしっかり感じました。

私自身が、少しカジュアルな服装にこだわるのは、あの18歳の夏の記憶があるからかもしれません。もし行き過ぎているようでしたら、遠慮なくご指摘ください。

さて、本日は玉川堂の玉川社長にお話をいただきます。本年度のテーマ「伝統と革新の調和」をまさに実践されてきた方だと思っています。普段、講師の依頼はお断りしていると。貴重なお話です。たいへん楽しみにしております。玉川社長、どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告



野水靖之 幹事

◎地区事務所より

「ガバナー・ミニ(2029-30年度ガバナー)候補者推薦について」

◎地区事務所及びガバナー事務所より

「夏期休業のお知らせ」

休業期間 8月11日(火・祝)～16日(日)

◎三条ローターアクトクラブより

「7月第二例会のご案内」

日 時 7月16日(木) 19:30～

会 場 まちやま 2階会議室 はなしょうぶ

◎加茂RCより

「第4分区IM開催のご案内」

日 時 9月12日(土) 14:00～18:00

会 場 加茂七谷温泉 美人の湯

◎来週22日(水)は、祝日の週につき休会です。

再来週29日(水)は、夜例会「納涼例会」です。

夜例会ご欠席の方は他クラブでメイクアップまたは事務局で記帳をお願いいたします。

ニコニコBOX

加茂RC会長 森山一理様、IM副実行委員長 石附孝子様

本日は9月12日のIMのPRに伺いました。お世話になります。

小林吾郎 会長

梅雨明け前にもかかわらず、すでに真夏の様相。熱中症に気を付けましょう。

西山徳芳さん

大皿に山盛りの枝豆が出る季節になりました。

玉川堂・玉川基行様、卓話ありがとうございます。

明田川賢一さん

玉川社長、本日は卓話ありがとうございます。“伝統は革新の連続だ!!”の名言、忘れません。

菊池 渉さん

冷えたビールに枝豆、その後、牛タンで赤ワイン。暑い日はこれにかぎります。幸せ幸せ。

渡辺良一さん

本日37度の予報です。本格的な暑さがやって来ます。くれぐれもご自愛ください!

玉川社長、卓話楽しみにしていました。

吉井直樹さん

本日の高温をなんとか乗り切りましょう。今年は暑い年になりそうですね。

玉川様、よろしくお願いいたします。

中林順一さん

駐車場からさんしん本店まで暑くて遠いですね。

渋谷政道さん

酷暑厳しいようですが、体調管理を行い、夏を楽しみたいと思います。

玉川堂・七代目 玉川基行様、卓話ありがとうございます。

外山浩玲さん

アッチーです。車の外気温が38度になっています。まだ7月半ば、この先どうなる?

白倉徳幸さん、柳取崇之さん、嘉瀬一洋さん、
斎藤弘文さん、松永一義さん、早川滝徳さん、
船越良則さん、成田秀雄さん、白鳥 賢さん、
歸山 肇さん、小林卓哉さん、杉山幸英さん、
山田富義さん、小越憲泰さん、安達俊明さん、
五十嵐博宣さん、野水靖之さん、落合孝夫さん、
飯塚一樹さん、丸山行彦さん、高橋俊樹さん、
石倉政雄さん、岩橋美穂さん、高橋 司さん

玉川基行様を心より歓迎申し上げます。
 本日は卓話ありがとうございます。お話し楽しみにしております。

7月15日分 ¥35,000
 今年度累計 ¥132,000

「卓話」 お金で買えない価値をどう創造するか



株式会社 玉川堂
 代表取締役 七代目
 玉川基行 様

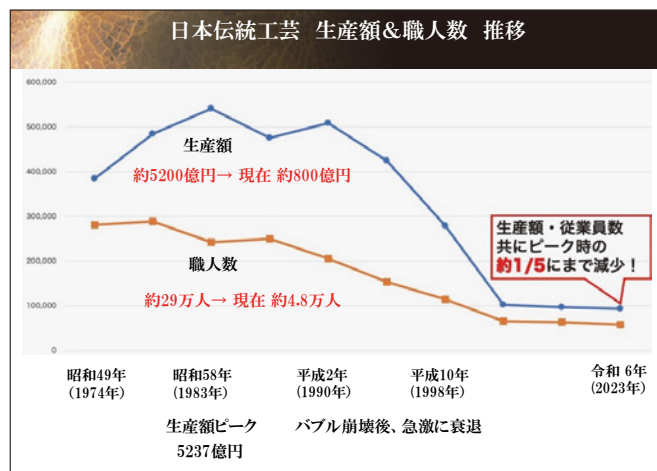
私は本日、「お金で買えない価値をどう創造するか」というテーマでお話します。

現在、日本の伝統工芸を取り巻く環境は非常に厳しくなっています。かつて約5,000億円あった伝統工芸品の生産額は約800億円まで減少し、職人数も約30万人から約4万人へと大幅に減りました。しかし、そのような中でも玉川堂では現在21名の職人が働き、そのうち7名が女性です。平均年齢は34歳と、伝統工芸の世界では非常に若い職人集団となっています。毎年20～30名、多い年には60名近い応募がありますが、採用するのは1名程度です。

玉川堂では、仕事は午後5時30分に終わりますが、その後も工房を職人に開放しています。これは残業ではありません。自分の作りたい作品を制作する時間です。私は「職人は生産者ではなく、表現者である」と考えています。また、書道教室やデッサン教室も行っています。字や絵が上手になることが目的ではなく、物事を観察する力や感性を磨くためです。優れた職人になるためには、技術だけではなく、人としての感性や表現力が欠かせないと考えています。

玉川堂は1816年創業、210年以上の歴史があります。しかし、その歴史は決して順風満帆ではありませんでした。私が大学を卒業した1995年当時、会社は倒産寸前の状態でした。本来であれば東京の商社などで修業を積み、その後家業へ戻る予定でしたが、大学3年生の夏に父から「会社が潰れそうだから帰ってきてほしい」と言われました。その言葉を聞き、就職活動をやめ、卒業と同時に家業へ入りました。

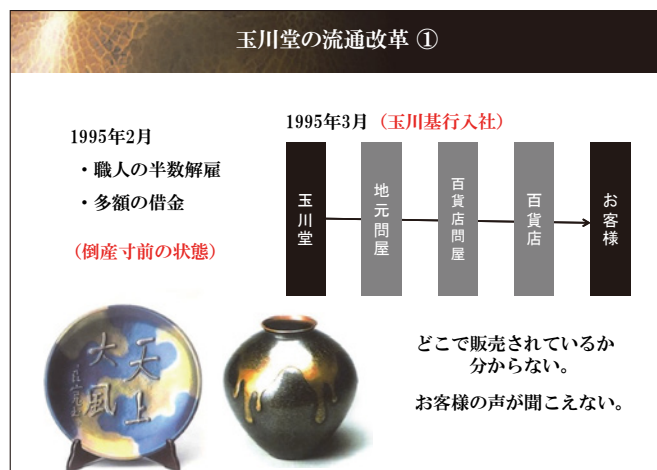
当時はほとんどの商品を問屋経由で販売していました。しかし私は、問屋任せではお客様に玉川堂の価値は伝わらないと考え、自ら百貨店へ営業に回りました。最初は商品を置いてもらえませんでした。一週間ほど実演販売を行い実績を積み重ねることで、ようやく売



玉川堂の職人

職人数
 21名 (女性7名)
 平均年齢 34歳
 伝統工芸では、かなり若い年齢層。

採用
 毎年20～30名の就職希望があり、1名採用。
 応募の9割は新卒の女子学生。
 (美術系大学4年生が中心)



場をいただけるようになりました。その後はビールカップなど新しい商品を開発し、さらに百貨店依存から脱却して直営店を展開するという決断をしました。

私はブランディングとは広告ではなく、「流通経路を短くすること」だと考えています。メーカーとお客様の距離が近ければ近いほど、作り手の想いや商品の価値を正しく伝えることができます。その考え方はルイ・ヴィトンなど世界のラグジュアリーブランドからも学びました。彼らは自分たちの店で、自分たちの言葉で価値を伝えています。だからこそブランドが育つのです。

また、フェラーリのブランド戦略にも大きな影響を受けました。大量生産ではなく、一台一台に責任を持ち、価値を高め続ける姿勢です。さらにイギリスのホールマーク制度を参考に、2016年から玉川堂でも職人一人ひとりの刻印を製品へ入れる制度を始めました。以前は玉川堂の刻印だけでしたが、現在は「誰が、いつ作ったか」が100年後でも分かるようになっていきます。職人自身の責任と誇りを育てることが、この制度の目的です。

私は「伝統とは革新の連続」だと考えています。伝統とは過去を守ることではありません。変わり続けることによって受け継がれるものです。そして玉川堂のブランドメッセージは、「本当の美しさは未来にある」です。

鋳起銅器は完成品ではありません。お客様が50年、100年と使い込み、修理を重ねながら受け継ぐことで、本当の美しさが生まれます。新品が最も美しいのではなく、時を重ねることで完成していく。その時間こそが、お金では買えない価値なのです。

これから私たちが目指すのは、海外へ売り込むことだけではなくありません。世界中の人々が燕三条を訪れ、工場で職人の仕事を見て、その言葉を聞き、ものづくりを体験することです。工場だけでなく、食事や文化も含めて地域全体を体験していただくことで、新しいラグジュアリーを創造したいと考えています。

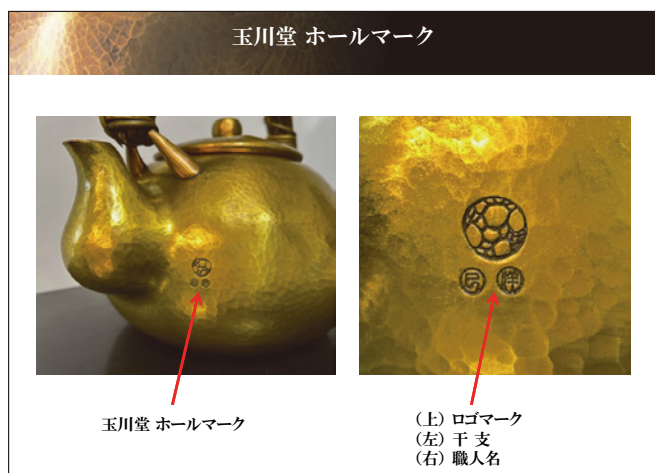
私はフランスのシャンパーニュ地方を訪れた際、小さなワイナリーでも世界中から多くの人々が訪れ、生産者自らが語り、お客様がその価値に感動している姿を見ました。その経験から、「世界へ行くのではなく、世界中の人々に燕三条へ来てもらおう」と考えるようになりました。実際にルイナール社とのコラボレーションなどを通じて、その考えはさらに確信へと変わりました。

私が考えるブランドとは、「お金で買えない価値」を提供することです。ルイ・ヴィトンには「旅」、エルメスには「馬」というブランドの物語があります。玉川堂が提供したいのは「時」です。お客様の人生の長い年月をかけて銅器を育てていただくこと。その「時」は、お金では決して買うことができません。使い込むほどに美しさが増し、50年後、100年後に本当の価値が生まれる。それが私たちの考える新しいラグジュアリーであり、心の豊か



玉川堂 ホールマーク

うま	ひつじ	さる	とり	いぬ	い
2026年 今年	2027年	2016年 (200周年) 新刻印採用→	2017年	2018年	2019年
ね	うし	とら	う	たつ	み
2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年



さにつながる価値です。

私は、「伝統とは革新の連続」であると考えています。伝統とは、技術をそのまま繰り返すことではなく、受け継いだ技術に革新を積み重ね、次の時代へつないでいくことです。そして、これからの生産者は「表現者」でなければなりません。自らの言葉で想いを伝え、お客様と直接つながることで、本当の価値が生まれます。

日本の地場産業には、世界に誇れる技術と歴史があります。これからは海外へ売り込むだけでなく、世界中の人々に燕三条へ足を運んでいただき、工場や職人、地域の文化そのものを体験していただくことが、新たな伝統を築き、新たなラグジュアリーを創造することにつながると考えています。その挑戦を通じて、お金では買えない価値を未来へ受け継いでいきたいと思っています。



伝統とは
革新の連続

伝統
技術を受け継ぎ、
革新を連続させる

伝承
技術を受け継ぎ、
同じことを繰り返す



加茂RC会長の森山一理様、IM副実行委員長の石附孝子様より、

2026-2027年度「第4分区IM開催のご案内」



■開催日／9月12日(土)

13:00 受付

14:00 開会

14:45 フォーラム:
県央地域の
「高等教育機関」を
使い倒す!

16:10~18:00
懇親会

■会 場／加茂七谷温泉
美人の湯

創立70周年実行委員会「キックオフ会」

創立70周年実行委員会「キックオフ会」を各担当委員長(副委員長)の顔合わせを兼ねて開催しました。
創立70周年記念式典ならび記念誌作成に向けて始動です。

■日 時／7月15日(水) ■会 場／二洲楼



●小林吾郎 会長



●野水靖之 幹事



●吉井直樹 実行委員長



●渡辺良一 副実行委員長



●柳取崇之
副実行委員長



●梨本次郎
総務会計委員長



●喜瀬一洋
アトラクション委員長



●渋谷政道
記念誌委員長



●野崎喜一郎
プログラム・広報副委員長



●落合孝夫
招待RC・友好クラブ委員長



●小林卓哉 救護委員長
※当日欠席



●船越良則
登録受付委員長



●早川滝徳
式典企画委員長



●五十嵐博宣
式典進行委員長



●外山浩玲
接待委員長



●白鳥 賢
式典司会



●斎藤弘文 相談役



●山田富義 相談役

次週例会 7月29日 夜例会「納涼例会」
18:30～ 於 越前屋ホテル

次々週例会 8月 5日 「会員卓話」 菊池 渉 会員



皆様の写真で
本週報の表紙を
飾って
みませんか？

今期の三条ロータリークラブ週報では、皆様より表紙の写真を募集いたします。
日常の風景から旅先のスナップ・渾身のワンカットなど、会員様の素敵な写真をご提供ください。
画像タイトル(キャプション)を入れてメールでお送りください。
宛先は小林卓哉会員宛「taku.kobayashi@bb.wakwak.com」までお願いいたします。
※投稿者名を非掲載希望の方は、メール送信時にその旨ご記載ください。
※応募者多数の場合は掲載されない場合もございます。ご容赦願います。